



サ ル ビ ア

～皆様のご意見をもとに次のステージへ進む～伊勢崎市立赤堀東小学校 令和6年9月11日 第40号

学校評価アンケート(前期)結果報告

保護者の皆様におかれましては、お忙しい中、学校評価アンケートに回答いただきありがとうございました。結果がまとまりましたので以下の通りご報告いたします。

1 評価結果（全体）

領域	設問番号	評価内容(一部省略)	児童(3～6年)		保護者		全 体			
			A B 評価の合計		A B 評価の合計		A B 評価の比較		比較	評価
			R5 後期 評価	R6 前期 評価	R5 後期 評価	R6 前期 評価	R5 後期 評価	R6 前期 評価		
I 連携	1	学校からのお便りは、情報伝達に有効か			94	95	94	95	1	A
	2	学校行事への参加			99	100	99	100	1	A
	3	学校（先生）に相談しやすいか	94	92	91	91	92	92	0	A
II 確かな学力	4	わかる授業を目指した、指導になっているか	95	96			95	96	1	A
	5	学習の理解度は良好か	95	96	82	79	89	88	-1	B
	6	先生は子どものよさを支援しているか	96	97	92	93	94	95	1	A
	7	家庭学習は定着しているか	86	84	62	80	74	82	8	B
	8	読書は好きか	88	88			88	88	0	B
III 豊かな心	9	英語の学習に意欲的に取り組んでいるか	88	90	77	78	83	84	1	B
	10	あいさつはできているか	94	93	79	80	86	87	1	B
	11	学校生活が楽しく送れているか	95	92	95	96	95	94	-1	A
	12	こども(自分)はよい友だち関係ができている	97	94	96	98	97	96	-1	A
IV 健康	13	子どもはきまりを守り、係活動等をしている	100	98	91	98	96	98	2	A
	14	食事や睡眠等、規則正しい生活が送れている	86	86	85	88	85	87	2	B
	15	体を動かした健康的な活動が進められているか	78	71	87	91	82	81	-1	B
V 安全確保	16	健康保持や治療等の推進が行われているか	93	93	97	97	95	95	0	A
	17	施設管理や避難訓練で安全指導は行われているか	99	98	96	97	98	98	0	A
VI 将来	18	歩行や自転車等の安全指導は行われているか	100	99	86	83	93	91	-2	A
	19	将来の夢を育む学校の指導は工夫されているか	88	92			88	92	4	A
	20	夢や希望について家庭での会話は行われているか	82	84	78	84	80	84	4	B
平均			92	91	87	90	90	91	1	A

※ アンケートの集計の割合(%)に、A：そう思う、B：大体そう思う、C：あまり思わない、D：思わないがありますが、集計結果の良否はAとBの肯定的評価の合計で示しました。 アンケートを取らなかった項目は、斜線となっています。

※ A B 評価の割合(%)が、100～90を超えるものは「A」で大変良好、90未満～80以上は「B」で良好とし、両評価については、現在の指導を継続して行おうと考えています。また、80に満たないものは「C」とし、改善案をお伝えしております。

今回は、C 評価はありませんでしたが、今後の教育活動に向けて、いくつかの設問に着目し、学校の考え方を裏面にまとめましたので、併せてご覧ください。

2 学校評価結果を受けて

(1) 設問番号4「わかる授業を目指した指導になっているか」(95%→96%)

本校では、今年度の校内研修で「進んで思いや考えを表現する力を育むための指導」をテーマとして、思考を促し、自分の考えや判断をもたせる指導を進めています。単に知識として「わかる」授業を目指すのであれば、教師主導の教え込みでも効率よく授業を進めることができると思います。しかし、自分の考えや判断をもちながら授業に参加することにより、頭や心の中に「残る授業」になっていくと考えます。

今後も自分の考えをしっかりともちながら、自分の課題に気づき、解決に向けて進んでいける人に成長するように支援していきたいと考えています。

(2) 設問番号6「先生は子どものよさを支援しているか」(94%→95%)

子どものよさの中には、知識・理解力など、数値化できる内容だけでなく、興味や関心、粘り強さ、思いやりなど、数値化できないよさもたくさんあります。(これらは『非認知能力』と呼ばれ、今注目されています)

学校は、子どもたちのよさを様々な側面から積極的に見取るとともに、子どもたち同士も互いに認め合える環境づくりができています。常に留意しながら指導を進めていきます。よさを認め、支援することが、その子の力を伸ばすことにつながると考えているからです。

(3) 設問番号8「読書は好きか」(88%→88%)

一般的に、人々の活字離れが言われていますが、私の目からは、本校の児童は、日に日に本への関心が高まっているようにも感じられます。それは、新しい本の購入だけでなく、多くの団体からのご協力で支えられていることにもよります。今年度は

- ・曲沢緑と花で包む会(寄贈)
- ・赤堀緑地(寄贈)
- ・ぐんま弘済会(助成)
- ・おはなしぼっけ(読み聞かせ)

により、読書指導が進められております。改めて感謝申し上げます。今後も、子どもたちが多くの本に触れながら、豊かな人生を送って欲しいと願っています。

(4) 設問番号9「英語の学習に意欲的に取り組んでいるか」(83%→84%)

小学校英語の大きなねらいとして、英語への興味・関心を高めることが挙げられます。本校では英語専科、ALT、イングリッシュサポーターのスタッフを揃え、楽しい英語教育に取り組んでいます。

英語を楽しく取り組めるように、リズムに合わせて発音したり、英語の歌を歌ったり、英語を使って料理などの活動をしている動画を見たりするなど、授業中には笑顔や笑い声も溢れます。

英語を使って話す学習では、ただ文を復唱するだけでなく、自分の夢や希望を織り込みながら表現するなど、英語を使って意思表示ができるように工夫がされています。

このような活動を通して、子どもたちの英語への意欲は高まってきています。

今年度は、11月に群馬県教育委員会と連携した、英語教育の発表も予定されています。

今後も、子どもたちが楽しい英語のコミュニケーションを通して、国際的な理解も広げられるように育って欲しいと願っています。

(5) 設問番号11「学校生活が楽しく送れているか」(95%→94%)

学校での「楽しい」には、主に人間関係と自己実現の要素があると思います。

子どもたちはそれぞれの考え方は多少違っていても、「よりよい学級でありたい」という気持ちは、共通して持っているものだと思います。よい環境(学級)づくりのために、自分から工夫し実践できる力を高めていきたいと思えます。

また、自分の目標を達成するために、多少の我慢や痛みを乗り越えるとともに、友だち同士が認め合い、互いの自己実現を支える環境(学級)づくりを目指していきたいと思えます。

(6) 設問番号20「夢や希望について家庭での会話は行われているか」(80%→84%)

かけがえのない存在としてこの世に生を受けた子どもたちが、目の前のことに精一杯取り組むことを通して、いつの間にかそれをできるようになったり、大好きになったり、他の子とは違った成果が出始たりします。

時に、それが誰かの目にとまり、「こんな道に進んでみないか？」とその能力を見出してもらえる場合もあります。それが本人の意思か否かにかかわらずです。

目の前のことに、精一杯取り組む中で、他の子とは違った特徴が現れてくる。それが、その子らしさであり、夢や希望につながる個性になっていくかもしれないという話です。

この設問は「お子さんの毎日の頑張りや成長について、会話をしていますか」と言い換えることもできるかもしれません。